
平成25年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成25年3月13日

質問者（質問順）

- 1 岩崎 ひろし 委員（共産党）
- 2 渋谷 健 委員（自民党）
- 3 菅野 義矩 委員（民主党）
- 4 尾崎 太 委員（公明党）
- 5 平野 和之 委員（みんな）
- 6 井上 さくら 委員（無所ク）

財 政 局

局 別 審 査

1 岩 崎 ひろし 委員（共産党）

1 公共施設の保全について

- (1) 現場で必要な保全費について、必要な予算を手当することは財政局の重要な役割だと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 公共建築物マネジメント白書の素案に記載されている保全費の将来推計について伺いたい。
- (3) 保全費が毎年380億円不足することについて確認したい。
- (4) 税収が減少する中、保全費を20年間で総額2兆円、平準化しても年960億円確保するのは困難であると考えているが、見解を伺いたい。
- (5) 25年度の施設等整備費のうち、保全費は640億円ということでよいか。
- (6) 今後の施設等整備費は、25年度程度の額で推移するのか。
- (7) 25年度の保全費は必要額より320億円不足するが、どのように補うのか。
- (8) 保全費の不足額320億円を、どこまで圧縮するのか。
- (9) 20年度に公表した「横浜市公共施設の保全・利活用基本方針」では、26年度以降の保全費をどのように確保すると記載しているのか。
- (10) 25年度の保全費を960億円確保すること、財源は施設等整備費の中でやりくりすること、新規整備を徹底的に見直すことが必要であると考えているが、局長の覚悟を伺いたい。
(要望) 公共施設の老朽化問題に覚悟を決めて取り組むことを要望する。
- (11) これまでも新規施設整備を抑制し、保全を集中的に実施するよう要望してきたが、この点について見解を伺いたい。

2 渋谷 健 委員（自民党）

1 都市基盤施設の整備と保全について

- (1) 「都市基盤施設の中長期的な整備・保全のあり方検討」の内容について伺いたい。
- (2) 都市基盤施設の中長期的な整備推進の考え方について伺いたい。
- (3) 都市基盤施設の保全の今後の取組について伺いたい。
- (要望) 保全と施設整備の両方の予算をしっかりと組み、市民の安全と経済の成長のために取り組むことを要望する。

2 長期的な財政見通しについて

- (1) 長期的な財政見通しを試算した目的について伺いたい。
- (2) 外部の有識者からの主な意見について伺いたい。
- (3) 今回、更新して公表した試算結果について伺いたい。
- (4) 長期的な財政見通しを今後の財政運営にどのように活用するのか伺いたい。

3 契約のあり方について

(1) 委託契約について

- ア 予定価格の概要と算定根拠について伺いたい。
- イ 予定価格とは、定価に等しいものという理解でよいか。
- ウ 最低制限価格とは何か。
- エ 最低制限価格は何を根拠に定めているのか。
- オ 最低制限価格を予定価格の3分の2に設定している根拠は何か。
- カ 街路樹の維持管理業務について、どのように履行を担保しているのか。
- キ 現場責任者には資格や能力が必要か。
- ク 仮に私が造園業者に直接雇用されていたら、現場責任者となれるのか。
- ケ 委託契約について、入札参加条件を工事と同様に厳しくすることについての制度上の問題の有無について伺いたい。

コ 委託の場合でも工事と同様に、資格を持った現場責任者を置かなければいけないという制限を付すことが制度上可能なのか。

サ 履行の質の向上を図るため、金額が高く、難しいものだけでも準工事的な委託の発注をすべきと考えるが、見解を伺いたい。

シ 履行の質を保てるような契約の発注方法を検討していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

ス 最低制限価格の設定率を見直すべきと考えるが、見解を伺いたい。

セ 委託においても事業者ごとの格付を公表すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 工事契約における最低制限価格と調査基準価格について

ア 最低制限価格と調査基準価格にランダム係数を導入した経緯について伺いたい。

イ 最低制限価格と調査基準価格を事後公表とした経緯について伺いたい。

ウ ランダム係数が変動する1%の範囲内への入札の割合について伺いたい。

エ 最低制限価格のランダム係数の範囲を見直すべきと考えるが、見解を伺いたい。

オ 調査基準価格についてはランダム係数を廃止すべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 補助事業における前金払について

(1) 市発注の工事代金の支払いは、通常、前金払、部分払、精算払ということによいか。

(2) 補助金を活用した工事における前金払の取扱いについて、現状を伺いたい。

(3) 補助事業における前金払の制度上の可否について伺いたい。

(4) 保育所及び特別養護老人ホームの補助率について伺いたい。

(5) 補助を受けて実施する社会福祉施設等の工事については、前金払が可能となるよう工夫すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(6) 社会福祉施設等を所管する局からは、財政局が旗振りをすれば、前向きに検討すると聞いているが、見解を伺いたい。

(要望) 4月以降、市内中小企業の資金繰りは一層厳しくなる。早いうちに関係局と制度設計の検討に入り、補助事業の前金払の制度を改善することを要望する。

3 菅野義矩委員（民主党）

1 市全体の借入金残高について

- (1) 一般会計で対応する本市全体の借入金残高について、21年度末と比較した25年度末見込みを伺いたい。
- (2) 一般会計で対応する本市全体の借入金残高について、24年度末見込みと比較した25年度末見込みを伺いたい。
- (3) 必要な行政サービスの提供と財政規律を両立させるべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 納税環境の整備について

- (1) 過去3か年における納付方法別の利用率、納期内納付率、収入未済額及び収納率の推移について伺いたい。
- (2) モバイルレジを本市で導入することが可能なのか伺いたい。また、モバイルレジとペイジー収納との違いについて伺いたい。
- (3) 主に法人が申告して納付する法人市民税や事業所税などの納税環境の整備状況について伺いたい。
- (4) 納税環境の整備に関する広報をどのように行うのか伺いたい。
- (5) 納税啓発に関してどのような取組を行っているのか伺いたい。

3 未収債権の回収について

- (1) 2年間の未収債権回収の取組における成果について伺いたい。
- (2) 未収債権のうち、未収額の増加要因の有無について伺いたい。
- (3) 債権回収担当を1年間延長する理由について伺いたい。
- (4) 26年度以降の未収債権の回収に関する方向性について伺いたい。

4 公共施設の保全について

- (1) 23年度に実施した保全費の将来推計を算出するにあたり、20年度から見

直した内容について伺いたい。

(2) 推計にあたっての保全にかかるコスト水準の考え方について伺いたい。

(3) 保全費を確保するにあたっての考え方と今後の課題について伺いたい。

(要望) 厳しい財政状況ではあるが、市民の安全、安心は不可欠である。公共事業として、採算性だけではなく市民に信用されるような質の確保についても、尽力してもらおうよう要望する。

1 財政健全化について

- (1) 市債残高が発生した理由について伺いたい。
- (2) 臨時財政対策債の制度の概要について伺いたい。
- (3) 臨時財政対策債の残高と一般会計市債残高に占める割合について伺いたい。
- (4) 臨時財政対策債の課題と今後の対応について伺いたい。
- (5) 実質公債費比率と将来負担比率の推移について伺いたい。
- (6) 実質公債費比率と将来負担比率に関して、他の政令市と比較した本市の状況について伺いたい。
- (7) 健全化判断比率の数値が悪い場合、市民生活へどのような影響があるのか。
- (8) これまでの財政健全化の取組について、どのように認識しているのか。
- (9) 今後の実質公債費比率の上昇を踏まえ、どのように財政運営を進めていくのか。
- (10) 道路建設事業団の清算に三セク債を活用する考えはあるのか。
(要望) 将来世代の負担軽減のための努力と、現在の市民に必要なサービスや将来の横浜に必要な投資という2つの視点を持ちながら、市民から理解が得られるよう財政健全化に努めることを要望する。

2 土地開発公社の解散について

- (1) 広報よこはま3月号に記載している公社解散に要する経費1,383億円の内容について伺いたい。
- (2) 公社の解散に税金を充当することについて、市民に対して、より丁寧に説明すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 公社保有土地の用途別の面積と簿価額の24年度末見込みについて伺いたい。
- (4) 舞岡町土地とみなとみらい新高島地区以外の用地に関する事業化の方針について伺いたい。
- (5) 公社の解散の法的な位置づけについて伺いたい。

(6) 今後の解散の手続きについて伺いたい。

(7) 解散時に在籍する公社職員に対する再就職支援等の対応について伺いたい。

(要望) 公社の解散を支障無く進めるとともに、解散にあたり予期せぬコストが発生しないよう取り組むことを要望する。

3 横浜市内公共事業発注者連絡会について

(1) 設計・測量・地質調査業務に関して、市内企業の受注についてどのように取り組んでいるのか。

(2) 市内企業の受注に関して首都高速道路株式会社へどのように働きかけているのか。

(3) 国の「地元企業活用評価型」総合評価落札方式の概要と効果について伺いたい。

(要望) 今後も粘り強く継続して関係機関に働きかけを行い、成果を積み上げることを要望する。

4 防災・安全交付金について

(1) 制度の趣旨と対象となるメニューについて伺いたい。

(2) 今後の防災・安全交付金の活用の考え方について伺いたい。

(意見) 必要な額がきちんと確保され、自治体にとってより使い勝手が良い制度であることを望む。制度運用の段階で、必要な場合は、我々議員も含めて国にしっかり要望していくつもりである。

5 公有財産の有効活用について

(1) 22年度から取り組んでいる「資産たな卸し」の取組状況について伺いたい。

(2) 25年度における「資産たな卸し」の取組内容について伺いたい。

(3) 用途廃止施設の後利用検討にあたっての視点について伺いたい。

(要望) 鶴見工業高校跡地について、地元の住民の皆様からは地域利用についての相談も寄せられている。新たな発想で跡地の対応を進めることを改めて要望する。

(4) 公民連携による大規模な市有地の有効活用策について伺いたい。

(要望) 公有財産の活用策について市民の皆様へ丁寧な説明を行うとともに、スピード感を持って取り組むことを要望する。

5 平野和之委員（みんな）

1 東京電力賠償金に関する状況について

- (1) 昨年 の 第 1 回 市 会 定 例 会 後 の 賠 償 金 に 関 す る 状 況 に つ い て 伺 い た い。
- (2) 請 求 の 総 額 は い く ら に な る の か。
- (3) 請 求 総 額 5 7 億 円 を 回 収 で き る の か。 ま た、 請 求 は い つ 行 う の か。
- (4) 賠 償 金 請 求 額 の 未 回 収 分 は い つ ま で に 徴 収 す る の か。
- (5) 東 京 電 力 か ら 延 滞 金 を 徴 収 す る の か。
- (6) 東 京 電 力 に 督 促 を し て い る の か。
- (7) 東 京 電 力 に 出 向 い て い る の か。
- (8) 賠 償 金 を 回 収 で き な い 場 合 の リ ス ク の 責 任 は 誰 が と る の か。

2 長期財政見通しについて

- (1) 長 期 財 政 見 通 し は、 当 た る の か 外 れ る の か 伺 い た い。
- (2) 今 後 2 0 年 間 の 累 計 の 収 支 不 足 額 は い く ら か。
- (3) 本 市 の バ ー ン レ ー ト は ど れ ぐ ら い か。
- (4) 基 金 の 残 高 は ど れ ぐ ら い か。
- (5) 危 機 的 財 政 状 況 に な っ て い る 理 由 に つ い て 伺 い た い。
- (6) 財 政 見 通 し で は な く、 財 政 計 画 で は だ め な の か。
- (7) 今 ま で の 事 業 計 画 が 計 画 通 り に い っ た 事 例 の 有 無 に つ い て 伺 い た い。
- (8) こ れ か ら 行 う 大 規 模 投 資 は 計 画 通 り に い く の か、 ま た 責 任 は 誰 が と る の か。
(意 見) 借 金 を し 続 け て も 財 政 が 回 っ て い る と い う よ う な 認 識 を さ れ な い よ う に し
て も ら い た い。
- (9) 財 政 見 通 し と 市 が 置 か れ て い る 状 況 に つ い て、 全 職 員 に 再 確 認 を 徹 底 さ せ る
べ き と 考 え る が、 見 解 を 伺 い た い。
(要 望) 目 標、 計 画、 結 果、 そ れ に 対 す る 責 任、 こ の P D C A を 回 し て い く こ と が
重 要 で あり、 コ ミ ッ ト メ ン ト し て い く こ と が 必 要 で あり。 こ の 点 を し っ か り
と 見 直 す こ と を 要 望 す る。

3 土地の無償貸付と資産活用・財源確保について

- (1) 土地の無償貸付は財政局が取りまとめるということだが、今回の経済局の成果に対する評価について伺いたい。
- (2) 今回の経済局のように、土地の貸付料を徴収し、補助金の縮減を行うなどの成果をあげた場合、インセンティブをきちんとつけるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 水道局から無償で借りている1,000坪の西区役所敷地の簿価額はいくらか。
- (4) 簿価44万円と時価9億円には差がある。もう一度精査をして、会計基準上、簿価で計上する必要があるもの以外は見直しを進めていかなければ、適正な賃料や資産価格を把握できないと思うが、昨年の方針を含めて、改めて見解を伺いたい。
- (要望) 簿価で計上している資産の適正な価値が把握できるよう要望する。
- (5) 売却できない土地については貸付けを行い、貸付けを行っている土地については売却を検討するなど、土地の有効活用のバランスを考えていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 駐車場の売却や民間企業への貸し出しなども精査すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 民間企業の提案を最大限受け入れれば財源をたくさん得ることができると考えるが、見解を伺いたい。
- (8) 本市が出資している外郭団体、関係団体の株式を公募して財源確保を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 本市が率先して民間企業が持つ最先端の考えに基づいて取り組んでいることを証明するよう要望する。
- (9) 今後、超長期債の発行を増やすような取組がリスク管理上必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (10) 20年債や30年債の全体に占める発行の割合はどれくらいか。
- (11) 20年債や30年債の発行割合を今後変えていく考えはあるのか。
- (12) 事業の長期的な計画を立てる上で、資金調達の間取りや金利をどう見込むかが重要と考えるが、どのように考えているのか。

(13) 本市の方針としては、リスクはテイクするものではないのか。

(14) 市長はリスクテイクすると答弁していたが、リスクはヘッジするものであり、
答弁の修正が必要だと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) リスクをテイクする前にリスクをヘッジするのは行政として最優先すべき
ことなので、今後再検証することを要望する。

(15) ふるさと納税を多く募るための取組について

ア 本市では、ふるさと納税を行うと何かもらえるのか。

イ 本市職員もふるさと納税を行う気になるよう、魅力的な特典を付与する取
組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

ウ 横浜が愛されるまちであるという証明はどう表されるのか。

6 井上 さくら 委員（無所ク）

1 工事契約における瑕疵担保期間について

- (1) 瑕疵担保責任とはどのようなものか。
 - (2) 本市の工事請負契約約款の瑕疵担保期間に関する規定について伺いたい。
 - (3) 約款で期限を定めていなければ、民法上の10年という瑕疵担保期間が適用されるということによいか。
 - (4) 本市の瑕疵担保期間の根拠について伺いたい。
 - (5) 国の「公共工事標準請負契約約款」の瑕疵担保期間設定の考え方について伺いたい。
 - (6) 本市のトンネル調査の結果、コンクリート壁の剥離や漏水があったものの中に、竣工から10年経っていないものがあるか。
 - (7) 瑕疵担保期間の延長が必要と考えるが、見解を伺いたい。
 - (8) 国土交通省に問い合わせたところ、期間の設定については各自治体の判断であると聞いているがその認識は間違っていないか。
 - (9) 17億円で契約した消防・救急デジタル無線設備の契約の瑕疵担保期間は何年か。
 - (10) 消防・救急デジタル無線設備の契約については、建設業法は関係ないが、瑕疵担保期間が1年である理由は何か。
 - (11) 設備については瑕疵担保期間を何年と定めているか。
 - (12) 委託契約については瑕疵担保期間を何年と定めているか。
 - (13) 委託契約は、建設業法とは関係ないが何故1年なのか。
 - (14) 消防・救急デジタル無線設備のような大事な設備が1年の瑕疵担保期間でよいのか。
- (要望) 瑕疵担保期間の見直しを検討することを要望する。

2 公契約条例について

- (1) 各都市で制定されている公契約条例の概要及び他都市の制定状況について伺

いたい。

(2) 本市における条例制定に向けた検討状況及びその課題並びに条例の効果について伺いたい。

(3) 新年度における検討の進め方について伺いたい。

(要望) 新年度は、これらの検討について少し前進していく姿を見せてもらうことを要望する。